

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和8年1月15日（木）10時～11時

場 所 碧南市役所2階 談話室1

出席者	人数	5人
	碧南市	小池市長、こども課長

テーマ 子育て支援（子育て支援の輪を広げよう）

要旨

碧南市の子育て施策等について市長から説明をし、意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- ・少子化が進む理由の1つとして、自分が子どもの頃よりSNSが発達したために、コミュニケーションの取り方が変化し、心配事が増えている点があると感じる。
- ・共働きのため、保育園に通っている時はできていた仕事と育児の両立が小学生になることで難しくなる「小学1年生の壁」を感じる。フルリモートで仕事をしているため、家にはいるが常に仕事をしなければならず、子どもと一緒にいることはできない。しかし、今の基準だと児童クラブに預けられず、4月や夏休みは働けなくなってしまう。
- ・他市のようにフルリモートでも児童クラブに預けられたり、放課後クラブ（教員のOBが教室を使って児童を見守るボランティア）が充実すると良い。
- ・少子化で生徒数は減っているはずなのに、定員が満員の児童クラブがある。
→児童クラブで児童を見守る支援員が不足している。
- ・支援員の資格や給料は？→支援員の資格を1週間で取得してもらおう。給料も出る。
- ・支援員を増やすために、支援員になると児童クラブに預けるための得点に加点される等、自分の子どもが預けられるのであれば、就業時間にもよるが、支援員を希望する人もいるのではないか。
- ・他市では母親クラブという、未就学児や小学生の母親同士がグループを作り、内容を企画して補助金を受けて活動するものがある。こういった活動では、母親自身の友達づくりや、やりたいことができるため子育てを楽しむ機会になるのではないか。市支援センターでのイベントも母親が運営側にまわることでより楽しむことができるのではないか。
- ・登校班に付いて登校していると危険な場面を見かける。子どもも大人も交通安全の意識を高めてもらいたい。市として講習会を増やしてほしい。スクールガードがいないところはどうすると良いのか？
→学校での講習会については教育委員会で決定している。保育園、幼稚園、小学校では交通安全講習会を実施している。交通安全の意識を高めるために、引き渡し訓練の時に親子で通学路の危険な場所を確認してもらおう。一緒に帰る友人関係を築くことも有効ではないか。
- ・小学校の制服について、制服がない市もある。保育園のスモッグもなくなってきている。費用もかかるし、夏は暑くて着ていない、冬は制服の上に上着を着るため、なくても良いのではないか。